

A decorative graphic on the right side of the page features three circles of varying sizes and colors (green, light green, and yellow) connected by thin lines. The largest circle is yellow and partially cut off by the right edge. The other two are green and light green. Lines also extend from the top left towards the circles.

横浜市福祉サービス第三者評価
評価結果報告書
太陽の子 鶴ヶ峰保育園
平成 29 年 2 月

評価実施機関

特定非営利活動法人

よこはま地域福祉研究センター

目 次

実施概要.....	1
評価結果についての講評.....	2
分類別評価結果.....	4
評価領域Ⅰ 利用者（子ども本人）の尊重.....	4
評価領域Ⅱ サービスの実施内容.....	6
評価領域Ⅲ 地域支援機能.....	11
評価領域Ⅳ 開かれた運営.....	12
評価領域Ⅴ 人材育成・援助技術の向上.....	13
評価領域Ⅵ 経営管理.....	14
利用者家族アンケート分析.....	15
利用者本人調査.....	19
事業者コメント.....	22

◆ 実施概要 ◆

事業所名	太陽の子 鶴ヶ峰保育園
報告書作成日	平成28年12月22日 (評価に要した期間4ヶ月間)
評価機関	特定非営利活動法人 よこはま地域福祉研究センター

*評価方法

1. 自己評価	【実施期間：平成28年8月1日～9月29日】 <ul style="list-style-type: none">・スタッフ会議で趣旨を説明し、常勤、非常勤すべてのスタッフが記入した。・個人が記入した自己評価票を基に、クラスごとにまとめ、乳児クラス、幼児クラスでそれぞれまとめていき、園長、主任で一つにまとめた。
2. 利用者家族 アンケート調査	【実施期間：平成28年9月26日～10月11日】 配 付：全園児の保護者（49家族）に対して、園から手渡しした。 回 収：保護者より評価機関に直接返送してもらった。
3. 訪問実地調査	【実施日：平成28年11月28日、11月30日】 ■第1日目 午 前：各クラスの保育観察～園児と一緒に昼食をとる。 午 後：書類調査／事業者面接調査（園長） ■第2日目 午 前：各クラスの保育観察～園児と一緒に昼食をとる。 午 後：職員ヒアリング調査 (主任・リーダー保育士2名・非常勤保育士1名・新入保育士1名・看護師・栄養士) 事業者面接調査（園長、主任）
4. 利用者本人調査	【実施日：平成28年11月28日、11月30日】 <ul style="list-style-type: none">・訪問実地調査の両日とも各クラスの午前中の保育時間を中心に、食事、排せつ、午睡の状況、登降園の様子等を観察。・乳児については主に観察調査、幼児については観察と食事の時間等に適宜聞き取り調査を実施。

◆ 評価結果についての講評 ◆

【施設の概要】

太陽の子鶴ヶ峰保育園は、相鉄線「鶴ヶ峰駅」北口から徒歩約8分の静かな住宅地の一角にあり、平成26年（2014年）4月、長谷川キッズライフ株式会社により開設されました。園舎は2階建てで1階に0歳児と1歳児の保育室、調理室、乳児用トイレ、沐浴室、事務室兼医務室があります。2階には2、3、4、5歳児の保育室、幼児用トイレがあります。2歳児室と3歳児室はパーティションで仕切られていますが、発表会などの催し物の際に大きなスペースとして使用することができます。子どもたちは園庭で体を動かして遊び、夏季はプール遊びをしたりプランターで植物や野菜を育てたりしています。

定員は60名です。延長保育、一時保育を実施しており、開園時間は、平日7時30分～20時00分、土曜日は7時30分～18時30分となっています。

保育理念は、「のびのび すくすく にこにこ 保護者・地域・保育園が手を取り合い、笑顔で見守るなか、子どもたちは、たくさんの“大好き”に出会い、こころとからだをすこやかに育てゆきます。」とし、保育目標は「個性をのびのびと発揮する子ども」「たくさんの“好き”を見つけ、すくすく育つ子ども」「“違う”を楽しみ、友達とつながる子ども」としています。また保育方針は、「安心できる人間関係のなかで、一人ひとりの違いを認め合いながら生活します」「整った保育環境の中で、仲間と喜びのある生活をし、自らルールを発見し社会性を育みます」「様々な経験や人との関わりの中で、自ら好きなものを発見し、健全な心身の発達を図ります」「いろいろな違いを体験する中で、広い視野をもった子どもを育てます」「保護者・地域・保育者みんなで感動をわかち合い、子どもの成長を一緒に笑顔で見守ります」としています。

1. 高く評価できる点

●子どもたちはのびのびと自分を表現し、園生活を楽しんでます

保育士たちは、園の保育理念である「のびのび すくすく にこにこ」をよく理解して保育にあたっています。子どもたちの行動を無理強いすることなく、子どものやる気を大切にし、散歩に出かけた公園では、子どもたちをできるだけ自由に遊ばせています。幼児クラスの子供たちは自発的に遊びを作り出していて、2、3人の子供が「手つなぎ鬼ごっこしよう」と提案すると、ほかの子供たちも加わって手つなぎ鬼ごっこが始まり、だんだん参加する子供が増えていきます。八つ手の葉っぱを「天狗のうちわ」に見立てて遊ぶ子供もいます。はじめはたき火を連想して小枝を集めていたら、自然にクリスマスリースを作ることに話が膨らみ、小枝のほかにドングリも集めて園に持ち帰っていました。保育士は、子供たちが自主的に活動できるよう見守りながら、援助しています。2歳児クラスでは保育士がボール紙で作った「お散歩バック」(首から下げられるように、ヒモがついている円筒形の入れ物)を子供たちはうれしそうに持って行き、公園ではドングリや紅葉した葉っぱを見つけては「お散歩バック」に入れていきます。

朝の自由遊びでは、テーブルで折り紙、塗り絵、お絵かきをしていたり、ブロックで建物や人、消防自動車を作っている子供もいます。ブロックで作った人形を操り、「消防車に乗る人は？」と言いながら遊んだり、小さなブロックで人をたくさん作って「みんな並ぼう、並ぼう」とブロックの人形に呼びかけながら楽しんでいる子供もいます。子供たちは、遊びの中で自分らしさを素直に出し、のびのびと園の生活を楽しんでます。

●職員はコミュニケーションを円滑におこない、チームワークよく保育をしています

保育士は日々、その日の申し送り事項を連絡ノートに記録しています。出勤したら、保育士は必ず連絡事項を確認し、子どもの様子を話し合っており、情報交換をしています。保育士同士のコミュニケーションが円滑におこなわれていて、担当以外のクラスの状況も分かっていることから、園全体でフォローができる体制が作られています。

職員は経験の豊富な人が、まだ経験の浅い職員に対して適切にフォローし、何でも相談できる体制を作っており、大切に育てています。園長や主任は可能な限り現場に出て、職員の状況を把握し、必要な助言ができるようにしています。

運営会社はさまざまな研修メニューを用意しており、個々の職員にとって必要な研修を受けるように時間的な調整をしています。研修を受けた職員は、その研修が日常の業務にどのように役に立つかを含めて研修記録を作成しており、研修に参加しなかった職員もその内容を知ることができるようになっています。離乳食、トイレトレーニング、アレルギーの除去食の提供などについては、保護者とも連携して看護師、栄養士、保育士が話し合って適切なプログラムを作成しています。このように職員間のコミュニケーションがよくとれている結果、すぐれたチームワークが作られ、子どもたちにとって、良い保育環境が生まれてきています。

2. 工夫・改善が望まれる点

●保護者の要望を把握するためのさらなる取組が期待されます

保育士は朝夕の送迎時等、日常的に保護者とのコミュニケーションを図るよう努めています。0、1、2歳児は連絡帳を用い保護者と毎日連絡を取り合い、3歳以上児は必要に応じて連絡帳を用いてお互いに連絡を取り合っています。玄関入り口のホワイトボードに、各クラスの1日の活動の様子を掲示し、HPのブログには写真をアップして紹介したり、年2回開催しているクラスごとの保護者懇談会ではクラス全体の様子を説明しています。また、年間の行事予定については年度初めに周知し、保護者が予定を立てやすいよう配慮する等、園では保護者への情報提供について取り組んでいますが、今回の保護者アンケートでは、「年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているか」「保護者懇談会や個人面談の機会」「送り迎えの際、お子さんの様子に関する情報交換」等の項目で、満足度がやや低くなっており、「個人面談を増やしてほしい」等の意見が複数あがっています。園の取組への保護者の理解を深めるために、個人面談の実施方法や周知方法等を検討し、保護者が面談の希望を出しやすくする工夫をしたり、行事や保育活動に関する保護者の要望や意向をアンケートの分析から把握する等、より一層の取組をおこなうことが期待されます。

◆ 分類別評価結果 ◆

3つ：高い水準にある / 2つ：一定の水準にある / 1つ：改善すべき点がある

評価領域 I 利用者（子ども本人）の尊重

	評価結果
<p>評価分類 I-1 保育方針の共通理解と保育課程等の作成</p>	
<ul style="list-style-type: none"> • 保育理念は「のびのび すくすく にこにこ 保護者・地域・保育園が手を取り合い、笑顔で見守るなか、子どもたちはたくさんの“大好き”に出会い、こころとからだをすこやかに育てゆきます。」とし、保育目標は、「個性をのびのびと発揮する子ども」「たくさんの“好き”を見つけ、すくすくと育つ子ども」「“違う”を楽しみ、友達とつながり子ども」としています。また、保育方針は「安心できる人間関係の中で、一人ひとりの違いを認め合いながら生活します」「整った保育環境の中で、仲間と喜びのある生活をし、自らルールを発見し社会性を育みます」「様々な経験や人との関わりの中で、自ら好きなものを発見し、健全な心身の発達を図ります」「いろいろな違いを体験する中で、広い視野をもった子どもを育てます」「保護者・地域・保育者みんなで感動をわかち合い、子どもの成長を一緒に笑顔で見守ります」としており、利用者本人を尊重したものとなっています。 • 職員全員に配布されるスタッフハンドブックには、初めに保育理念と保育目標、保育方針が記載されていて、折に触れ基本方針に立ち返り、保育活動につなげています。 • 保育課程は、保育理念、保育方針に基づき保護者・地域との関わりを重視して作成されています。今後はさらに、保育課程について保護者への説明がおこなわれることが期待されます。 • 指導計画は振り返りを記入する欄が設けられており、子どもの自主性・主体性に配慮して次期の計画に反映しています。 	

	評価結果
<p>評価分類 I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</p>	
<ul style="list-style-type: none"> • 入園前に児童調査票を保護者に記入してもらい、子どもの生育歴、家庭での状況、健康状況、アレルギーの有無などを把握しています。 • 入園面接時の観察記録、児童調査票などは個々の児童票に記載して、日々の保育に活かしています。 • 0～2歳児には複写式の連絡ノートを用意して保護者と毎日連絡を密に取っています。幼児に関しては、連絡ノートをいつでも鞆の中に入れて持参してもらい、保護者と園の双方で伝えることがある場合には、ノートにそれぞれが記載し連絡を取り合っています。 • 指導計画を作成するときには、職員会議などで個々の子どもの状況を報告しあい、職員間で情報を共有して、作成しています。 	

評価分類 I-3 快適な施設環境の確保	評価結果
	
<ul style="list-style-type: none"> 園の内外ともに、清掃チェック表に基づいて清掃がおこなわれ、清潔に保たれています。保育室のドアや窓の開口部は大きく取られ、換気が十分におこなわれています。室内は空気清浄機が設置されており、ほこりや気になる臭いを除去しています。 0歳児の保育室には沐浴設備が備えられ、幼児のトイレスペースには温水シャワーが設置されています。沐浴設備、温水シャワーは、清掃が適切におこなわれていて、常に清潔に保たれています。 0、1歳児の保育室は本棚などを置いて小さな空間を作ったり、牛乳パックで作った仕切り板を使うなどして、小集団保育ができるようにスペースづくりを工夫しています。 朝の自由時間の際は、4、5歳児の保育室で合同保育が日常的におこなわれています。行事等をおこなう際には、2歳児保育室と3歳児保育室の間のパーティションを開けて広い空間とし、異年齢交流の場としています。 	

評価分類 I-4 一人一人の子どもに個別に対応する努力	評価結果
	
<ul style="list-style-type: none"> 0～2歳児までの子どもの個別指導計画を作成しています。個別の指導計画は、子どもの状況によって常に見直し、柔軟に対応しています。特別な課題がある幼児については、月間指導計画作成時の振り返りで特記事項等を記入していますが、個別の指導計画を作成するには至っていません。 入園後の発達の記録は児童票、発達記録、健康台帳にそれぞれ記録されています。 進級時の重要な引き継ぎ事項、申し送り事項が児童票に記載されており、次年度の担当に引き継がれています。 	

評価分類 I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み	評価結果
	
<ul style="list-style-type: none"> 特に配慮を要する子どもの状況についてはリーダー会議で話し合わせ、記録しています。記録は、職員が必要なときに確認することができ、情報が共有されています。 園の建物はエレベーターが設置されており、また、段差などをなくしてバリアフリーの構造となっています。 虐待に関する園内研修を実施しており、虐待の定義に関して職員に周知しています。 入園時の調査票にアレルギーについての記入欄があり、アレルギーのある子どもについては医師からの指示書に基づいて、個別に対応方法を検討し、看護師、栄養士、保育士が連携して対応しています。 アレルギー食材は声に出して読み上げ、園長、栄養士、調理、担任で確認しており、専用の食器やトレイを使って間違いのないように給食の提供をおこなっています。 外国籍等、文化の異なる子どもに対して生活習慣、考え方の違いがあった場合にはその違いを認め、尊重し、ほかの子どもたちが理解できるよう配慮しています。また、保護者に対しても平仮名を多く使って、連絡帳を記入する等、意思疎通を円滑にするための工夫をしています。 	

<p>評価分類 I-6 苦情解決体制</p>	<p>評価結果</p>
	
<ul style="list-style-type: none"> • 苦情受付担当は主任となっており、入園のしおりに記載されているほか、園内に掲示して保護者に周知されています。 • 入園のしおりに第三者委員（2名）の紹介と苦情受付の方法が掲載されており、第三者委員に直接苦情を申し立てることができるようになっています。 • 保護者懇談会などで出された要望や意見は職員会議などで周知しています。 	

評価分類Ⅱ－１ 保育内容〔遊び〕	評価結果
	
<ul style="list-style-type: none"> • おもちゃや教材などは子どもの手の届く場所に置かれ、自分で取り出して遊べるようになっています。人形やままごと道具、ブロック、パズル、布製バック、手作りの新幹線、ボタンひも通しなどがおもちゃの名前と絵が貼ってある箱やカゴに収納され、子どもが片付けやすいよう配慮しています。子どもたちの年齢や発達にあわせて、また、子どもの興味等も考慮し、おもちゃや絵本が用意されており、保育室の様態替えやおもちゃの入れ替えを適宜おこなっています。子どもたちが自分で遊びを考え、好きなことをして遊び始める時間を確保できるよう配慮しています。調査日も丁寧に作ったブロックを保育士は子どもにどうしたいのか聞いて、棚の上に飾って続きができるよう配慮しています。 • 子どもの自由な発想を受け止め、それを集団活動に取り入れるよう柔軟な対応をしています。例えば、公園で枝を集め始めた子どもたちがたき火ごっこをして、集めた枝を園に持ち帰って何か作ろう、クリスマスリースを作ろうとなり、どんぐりも拾って園での制作活動に発展しています。保育士は、年齢に応じて氷鬼や鬼ごっこ、ドッチボール等を活動に取り入れ、子どもたちが、みんなで遊ぶ楽しさを知り、遊びを通してルールを守ることがわかるよう配慮しています。 • 園庭でナスやピーマン、オクラを栽培し、収穫した野菜を給食の献立に取り入れて提供しています。また、ひまわりやアサガオも栽培して、色水遊びをしたり、野菜スタンプを作っています。一つのピーマンから幾つの種ができるのか、子どもたちが一緒に考えて、意見を出し合う等、野菜の栽培を通して得られた体験を保育に活かしています。 • 天気の良い日は積極的に散歩に出かけ、自然に親しむようにしています。散歩マップを参考に目的に応じた散歩先を選び、自然の変化に気付くよう配慮しています。午前だけでなく午睡後も散歩に出かけることが多々あり、1歳児も1時間の行程を友達と手をつないで歩いています。 • 近隣の公園や白根不動、帷子川親水緑道などの散歩を通して、地域を知り、木の枝やドングリなどを制作に使う等、子どもたちが自然に触れる機会を積極的に作っています。利用者家族アンケートでも「戸外遊びを十分しているか」の満足度が96.9%（満足71.9%）と、高くなっています。 • 子どもたちは自由に歌を歌ったり、絵を描いたりしています。音楽に合わせて自然に集まった子どもたちが歌ったり踊ったりしているとほかのクラスの子も来てミュージカルのようななど自由に表現しています。 • 子ども同士のけんかについては、子どもが自分の思いを伝え、相手の気持ちを聞く大事な機会と捉え、子ども同士が納得して解決できるよう、保育士は援助しています。乳児クラスでは、危険のないように保育士が間に入って、気持ちを代弁しています。 • 発達過程に応じて運動能力を高められるよう、平均台や室内用鉄棒、マット、フープを使って運動遊びをしています。また、プロインストラクターの指導による年齢に応じたストレッチやダンスを活動に取り入れています。 	

評価分類Ⅱ－１ 保育内容【生活】	評価結果
	
<ul style="list-style-type: none"> • 保育理念や年齢別年間計画に食育を取り入れ、「ごはんはおいしく楽しく！」を掲げ、子どもたちが食べる喜びを感じられるように配慮しています。なるべく残さず食べることができるよう、食事の前に個別に量の調節をしています。苦手な食べ物については、一口でも食べることを促し、頑張っ食べたことを褒めています。子どもが自分から食べようとする意欲や行動を大切にしています。保育士は「ちよっきんしていい？」と子どもに聞き、子どもの理解を得てから魚を食べやすいよう切り分けています。 • 子どもたちが食事およびその過程に関心を持つように、子どもたちが栽培した野菜を給食で提供したり、栄養士と保育士は連携して食育を実施しています。当番活動も実施していて2歳児クラスは挨拶、3歳児クラスは食器の片付け、4、5歳児クラスは配膳と盛り付けなどを行っています。 • 旬の食材を使って季節感のある献立作りを心掛けています。行事食では、正月の七草がゆ、ひな祭りのちらし寿司、七夕には星形にくり抜いた野菜を素麺にトッピングして提供し、子どもたちが楽しめるよう工夫しています。 • 栄養士は子どもの好き嫌いについて、毎日の残食状況や各クラス担任からの報告で把握しています。サイクルメニューを取り入れているので、1回目に残食が出たメニューについては、2回目に味付け方法や調理方法を変更する等、工夫しています。 • 毎月「献立表」と「給食だより」を作成し、保護者に配布しています。「給食だより」には献立作成のポイントや「夏野菜を食べよう」「おかずはバランス良く食べよう」「栄養素たっぷりのキノコ」「目に良い食べ物」等をテーマにして、食に関する情報を提供しています。 • 子どもの顔が見える明るさが保てるようカーテンを引いた保育室で、保育士は子どもたちが安心して心地良い眠りにつけるよう配慮しています。乳児は保育士が脇に居て、優しく抱いたり、さすったりしています。乳幼児突然死症候群対策として0歳児は5分おき、1～5歳児は10分おきに、うつぶせになっていないか、呼吸や心音、顔色や鼻づまりの状況等を確認し、チェック表に記入しています。 • 一人一人の排泄リズムを捉え、個人差を尊重しています。トイレトレーニングは、一人一人の子どもの発達状況に応じて、「トイレに行きたがる」、「オムツが濡れていない」など、保育園での排泄状況を送迎時に口頭で伝えたり、連絡ノートに記入したり、個別相談で話す等、保護者と連携をとって個別に対応しています。 	

評価分類Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 【健康管理】	評価結果
	
<ul style="list-style-type: none"> ・「保健衛生マニュアル」に明記されている『受け入れ時の視診のポイント』、『健康状態の観察』の記述に基づいて対応しています。職員は視診をし、口頭で保護者から様子を聞いて子どもを受け入れています。園での子どもの健康状態は必要に応じて保護者への電話連絡や申し送りノート（伝達ノート）を使用して、降園時に口頭で伝えるなどし、降園後の対応を保護者と話し合っています。翌日の登園時に、クラス担任は前日の家での子どもの様子を聞くように努めています。 ・年2回の健康診断、年1回の歯科健診をおこない、その結果を記録しています。 ・感染症等への対応に関するマニュアルには、各種感染症とその対策、対応方法を明記しています。入園説明会では、「入園のしおり（重要事項説明書）」を用いて登園許可証が必要な感染症の一覧、対応方法、登園停止基準について説明しています。また、「ほけんだより」を発行し、季節に応じた健康の留意事項や感染症の情報などを保護者に知らせています。 ・感染症が発症したときは、玄関に病名、人数、症状等を掲示し、保護者に注意を呼び掛けています。利用者家族アンケートの結果を踏まえ、今後はさらに、保護者への周知方法等の工夫が期待されます。 ・感染症に関する最新情報は運営会社や旭区などから得て、嘔吐物処理方法などの最新の対応等について研修を受け、園内研修で実施し、職員間で共有しています。 	

評価分類Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 【衛生管理】	評価結果
	
<ul style="list-style-type: none"> ・衛生管理に関する「保健衛生マニュアル」があります。マニュアルは運営会社系列園の看護師が集まる看護師会で毎年、年度末に最新情報を得て見直し、改訂をしています。職員間でマニュアルの内容を共有するために、スタッフ会議で読み合わせをおこない、また、園内研修で嘔吐物処理方法等についての実技研修をおこなっています。 ・「保健衛生マニュアル」に施設衛生管理（施設内外の衛生管理、清掃方法、消毒薬の種類と使い方）について明記されています。マニュアルに基づいた清掃チェック表を使って保育室、トイレ等の清掃がおこなわれ、清潔で適切な状態が保たれています。 	

評価分類Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 【安全管理】	評価結果
	
<ul style="list-style-type: none"> ・「危機管理マニュアル」の中に安全管理に関するマニュアルがあります。マニュアルは事故防止、園内外における保育中のケガ、迷子、不審者、災害などを想定して適切に対応しており、全職員に周知されています。緊急時に備え、各保育室に「避難経路図」を掲示し、「緊急連絡先一覧」や「近隣病院連絡先一覧」、「自衛消防組織表」、「火災報知器区域図」を事務室に掲示しています。保護者に対しては、「園のしおり」で災害等緊急時の連絡方法として災害用伝言ダイヤル、災害用ブロードバンド伝言板、まちCOMIメールなどについて知らせています。 ・「危機管理マニュアル」に事故対応の基本姿勢、手順、連絡体制を明示しています。 ・子どものケガについては、クラス担任から園長や主任、看護師に状況を報告しており、軽傷であっても口頭で直接保護者に伝えるようにしています。保護者に状況を説明し、受診が必要なときは保護者の了解を得て、受診しています。ヒヤリハット、インシデント、アクシデントに記録しています。 ・警備会社のセキュリティシステムを導入しています。玄関門扉は常時施錠されICカードで施錠管理しています。旭区警察署、運営会社本部との緊急連絡体制は確立されています。不審者対応訓練を年3回実施し、旭区警察署の立ち合いのもとでの不審者対応訓練も実施しています。 	

評価分類Ⅱ－3 人権の尊重	評価結果
	
<ul style="list-style-type: none"> • 子どもの一人一人の人格を尊重した言葉遣いや対応がされているか、職員間でお互いに声を掛け、気付きを話し合っています。運営会社では年に1回、コンプライアンス試験を実施して職員が振り返りをおこない、子どもの人格を辱めたり、自尊心を傷つけてはならないことを全職員が共通理解として認識できるようにしています。 • 友達や保育士の視線を意識せず過ごせる場所があります。また、必要に応じて、相談室等、子どもに威圧感を与えず一対一で話し合える場所があります。 • コンプライアンスマニュアルの読み合わせをおこない、守秘義務の意義や目的を全職員に周知しています。ボランティアや実習生が来園する際もその都度伝えるようにしています。個人情報取り扱いについては入園のしおりに記載し、入園説明会でプライバシーポリシーを保護者に説明して、了解を得ています。ホームページやブログでの写真使用については、保護者の承諾を得ています。 • 遊びや行事の役割、持ち物、服装などで性別による区別はしていません。クラス内での順番やグループ分けなどは、男女の区別なく活動がおこなわれています。無意識に性差による固定観念で保育をしていないか、園長や主任がクラスを回った際に気付いたことを職員間で話し合い、認識するようにしています。 	

評価分類Ⅱ－4 保護者との交流・連携	評価結果
	
<ul style="list-style-type: none"> • 保育の基本方針が理解されるよう、入園説明会や年度初めにおこなう懇談会などで保護者に説明する機会を設けていて、保育理念や方針は玄関の目の着く場所に掲示しています。また、毎月配布される「園だより」や「クラスだより」に月のねらいや保育の内容などを記載しています。 • 子どもの送迎時に、その日の様子などを伝え、保護者と情報交換をするように努めています。年に1回、一定期間を設定して個別面談を実施しています。また、希望があればいつでも受け入れています。保護者懇談会を年度初めと終わりの年2回行ない、クラス全体の様子を伝えています。 • 保護者からの相談は相談室を使って、人に内容を聞かれずに相談できるよう配慮しています。相談を受けた保育士が適切な対応ができるよう、園長や主任が助言しています。相談内容によっては、園長や主任が同席して面談を実施しています。 • 毎月「園だより」「クラスだより」を発行して、園での様子、クラスの様子をエピソードなどを交えて伝えています。玄関に「今日の様子」を掲示し、その日の活動の様子を保護者に伝えています。 • 年度初めに年間行事予定を配布して保護者が参加の予定を立てやすいよう配慮しています。保育参観は保護者が日程を調整しやすいように期間を2週間設けて実施しています。 • 運営委員会は年2回開催され、各クラスの保護者の代表5名が参加して意見交換をおこなっています。 • 利用者家族アンケートの結果を踏まえ、今後はさらに、保護者への子どもの様子等の伝え方を検討し、工夫することや保護者が面談の希望を出しやすくする工夫などの取組が期待されます。 	

<p>評価分類Ⅲ－1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p>	<p>評価結果</p>
<ul style="list-style-type: none"> 園長は旭区の園長会に出席し、主任は旭区の「あさひ子育て保育園ひろば」連携会議に参加して、地域のニーズなどについて話し合われた内容等をスタッフ会議で報告しています。 一時保育と毎週水曜日に園庭開放を実施しています。 地域住民に向けて、旭区内の保育園8園が合同でおこなうイベント「親子で遊ぼうミニ保育園ひろば」を開催し、食育コーナーでは離乳食や保育園の人気メニューを紹介してレシピを配布しました。赤ちゃんコーナーでは遊びを紹介したり、保育士による読み聞かせやエプロンシアターを実施し、手作りコーナーでは親子で一緒に七夕飾りを作る講習を実施しています。 保育園の見学者や一時保育利用者、「あさひ子育て保育園ひろば」の参加者など、地域住民との交流はありますが、園は施設に対する要望を把握するための具体策は講じていないと考えています。今後は要望を把握するための具体策が講じられることを期待します。 	

<p>評価分類Ⅲ－2 保育所の専門性を活かした相談機能</p>	<p>評価結果</p>
<ul style="list-style-type: none"> ホームページによる情報提供や保育園の見学者、一時保育利用者、あさひ子育て保育園ひろばの参加者などからの育児相談を実施しています。毎週水曜日に園庭開放を実施し、一緒に育児相談に応じています。 相談内容に応じて必要な関係機関、横浜市西部地域療育センターや旭区こども家庭支援課など必要な関係機関はリスト化されており、職員は情報を共有しています。また、園長が主に担当して連携をとっています。 	

評価分類Ⅳ－1 保育所の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ	評価結果
	<ul style="list-style-type: none"> ・5歳児クラスは小学校の1年生のクラスに遊びに行っています。また、幼・保・小の連携として、近隣の小学校と、秋の自然、国語の発表、お正月遊びなど年に4回の交流を実施しています。 ・地域の中学校の職業体験実習を積極的に受け入れています。 ・乳児は白根地区センターのプレイルームを利用しています。2歳児クラスからは横浜市旭図書館を利用して本を借りたり、4、5歳児クラスは図書館で本を読む体験をしています。また、白根公園で開催される「あさひプレイパーク」に参加して駒やビー玉転がしなどを体験する機会を作っています。 ・地域の他保育園と5歳児交流を実施しています。4、5歳児クラスは白根地域ケアプラザに出かけ楽器演奏や歌、触れ合い手遊びを披露する等、交流を図っています。 ・地域への施設開放や備品の貸し出しをおこなわれていませんので、今後は、保育園の絵本を読むコーナーを作って場所を提供したり、絵本の貸し出し等の実施が期待されます。

評価分類Ⅳ－2 サービス内容等に関する情報提供	評価結果
	<ul style="list-style-type: none"> ・園のパンフレットや入園のしおり、ホームページ等には、保育理念や方針、サービスの内容、職員体制など必要な情報が記載しており、地域や関係機関に情報を提供しています。また、旭区こども家庭支援課にパネルを掲示して保育園の情報を提供しています。 ・保育園の基本方針や利用条件・サービス内容についての問い合わせに対しては、園長や主任が担当し、常時対応ができるようにしています。 ・利用希望者には、見学ができることをホームページ等で案内していて、見学日や時間等は見学希望者の都合を優先し、対応しています。

評価分類Ⅳ－3 ボランティア・実習の受け入れ	評価結果
	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア・実習生の受け入れのためのマニュアルがあります。マニュアルには、園の概要（保育理念、園児・職員構成）、子どもたちの人権やプライバシー保護・守秘義務および配慮すべき事項などが明記され、それに基づきオリエンテーションでボランティア・実習生に説明しています。 ・ボランティア・実習生の受け入れにあたり、あらかじめスタッフ会議等で受け入れについて説明し、保護者には園だよりや掲示物で基本的考え方・方針が理解されるよう説明しています。 ・実習生の受け入れ担当は主任がおこなっており、受け入れ時の記録が整備されています。実習期間は毎日、振り返りをおこない、実習最終日には実習生と職員の意見交換の機会を設けています。

評価領域 V 人材育成・援助技術の向上

評価分類 V-1 職員の人材育成	評価結果
<ul style="list-style-type: none"> 職員は毎年、年度初めに個々の年間目標を作成し、年度末にはその目標の達成度を自己評価すると同時に、園長との面談で確認しています。 園内の研修は、毎月定期的実施されており、常勤、非常勤を問わず参加できるようになっています。実技研修の際には、動画を取り入れて効果的に研修を進める工夫もしています。また、園外研修は横浜市、旭区などの研修を積極的に受講しています。 研修受講後は、必ず研修報告書を作成しています。研修の概要と日常の業務に役立つことを記載していて、報告書は全職員が閲覧し、情報を共有しています。 非常勤職員の指導は主任が担当し、職員間のコミュニケーションが円滑に図られています。非常勤職員はベテランが多く、その技術・ノウハウを若い常勤職員に学んでもらうように配慮しています。 	

評価分類 V-2 職員の技術の向上	評価結果
<ul style="list-style-type: none"> 運営会社は、職員の行動・技能、目標達成、マナーなど、詳細にチェック項目を設定し、職員の自己評価を定期的実施する仕組みを作っています。これに基づいて職員は年に2回自己評価をおこなっています。 職員の自己評価を通して話し合いをおこない、園の課題や保育の進め方について取り組んでいます。 園としての自己評価は運営会社で作成された書式で、保育理念、保育方針、保育課程に沿っておこなわれています。今後はさらに、園の自己評価を公表する仕組みを作ることが望まれます。 	

評価分類 V-3 職員のモチベーションの維持	評価結果
<ul style="list-style-type: none"> 運営会社が作成した職員の自己評価票に、経験や能力に応じた期待水準や役割について、職種別に示されています。 園長は年に2回、個別に職員と面談を実施し、その中で職員の要望・意見を聞いて、満足度を把握しています。 	

評価分類VI-1 経営における社会的責任	評価結果
	
<ul style="list-style-type: none"> • 運営会社はコンプライアンスマニュアルを作成しており、職員に周知しています。 • 園の財務諸表を作成し、ファイリングして玄関先に提示し、保護者が閲覧できるようにしています。 • 空き箱、段ボール等を、教材や玩具入れ等にリメイクし再利用して、ゴミの減量化やリサイクルに取り組んでいます。 • 調査時点では、環境に配慮するための取組や考え方について明文化されていませんでしたので、今後は、実施している取組や環境配慮への考え方について明文化し、運営計画に活かしていくことが期待されます。 	

評価分類VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等	評価結果
	
<ul style="list-style-type: none"> • 園の保育理念および保育方針、保育目標は玄関や事務室に掲示しています。また、保育理念や保育方針、保育目標が記載されているスタッフハンドブックを職員全員に配布して周知しています。 • 職員の自己評価のチェック項目の中に「保育理念の理解」という項目が入っており、年に2回おこなわれる職員の自己評価により、園長は職員が基本理念・基本方針が理解できているかを確認できるようになっています。 • 運営会社の組織変更に伴い、保育理念と保育目標、保育方針を変更した際、保護者に十分な説明をおこなっています。 • 運営会社は、現主任および次期主任クラスの職員の育成プログラムを作成し、実施しています。 	

評価分類VI-3 効率的な運営	評価結果
	
<ul style="list-style-type: none"> • 運営会社では、事業運営に影響のある情報を常に収集し、系列園全園に情報提供をしています。 • 運営会社は平成27年度からの5ヶ年計画を策定しています。 • 中長期計画の中で、フレックスタイム制度の導入、若年者に対するインターンシップ等の就業体験機会の提供などこれからの事業の展開を検討しています。 	

◆利用者家族アンケート分析◆

【実施概要】

■実施期間：平成28年9月26日～10月11日

■実施方法：利用者全員の家族に対し、保育園から直接手渡しで配付、評価機関に郵送で直接送付してもらった。

■回収率：配付49件、回収32件、回収率65.3%

★文中の「満足」「満足度」は「満足」と「どちらかといえば満足」の回答を合計した結果、「不満足」は「不満」と「どちらかといえば不満」の回答を合計した結果です。

【結果の特徴】

○問1「保育園の基本理念や基本方針」については81.2%が「よく知っている」「まあ知っている」と答え、その内96.3%が「賛同できる」「まあ賛同できる」と答えています。

○問2～問7の中で満足度が100%の項目は、

- ・あなたのお子さんが大切にされているか
 - ・あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるか
- です。さらに、95%以上の項目は
- ・保育園での1日の過ごし方についての説明について
 - ・費用やきまりに関する説明について
 - ・クラスの活動や遊びについて
 - ・子どもが戸外遊びを十分しているかについて
 - ・園のおもちゃや教材について
 - ・遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについて
 - ・お子さんが給食を楽しんでいるかについて
 - ・基本的な生活習慣の自立に向けての取り組みについて
 - ・お子さんの体調への気配りについては
 - ・お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについて
 - ・外部からの不審者侵入を防ぐ対策について
 - ・お子さんに関する重要な情報の連絡体制について

です。このようにきわめて多くの項目で95%を超える高い満足度となっていました。

○反対に、問2～問7の中で「どちらかといえば不満」「不満」と回答した割合が多い項目は、「年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているか」、「感染症の発生状況や注意事項などの情報提供について」の12.5%、「開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応について」で、15.6%となっています。

○保育園の総合満足度は93.7%（満足59.3%、どちらかといえば満足34.4%）と、きわめて高い満足度となっていました。

○自由回答では以下の回答がありました。

「職員の方々、先生には子どもに対して愛情を注いで保育していただき感謝しております」「本当に子どもたちをよく見てくださっている先生方に深く感謝しております」「園のブログを楽しみに見えています」という意見がある一方、「5歳児クラスでお泊り保育があると良い」「保護者が参加する行事の日程がもっと早くわかると良い」などの要望も出されています。さらに、「相談したいこと、意見要望などはあっても話せる機会がなかなかない」という、要望・意見を出す機会を作ってほしいという意見など、コミュニケーションに対する要望が見られました。

太陽の子 鶴ヶ峰保育園 利用者家族アンケート集計結果

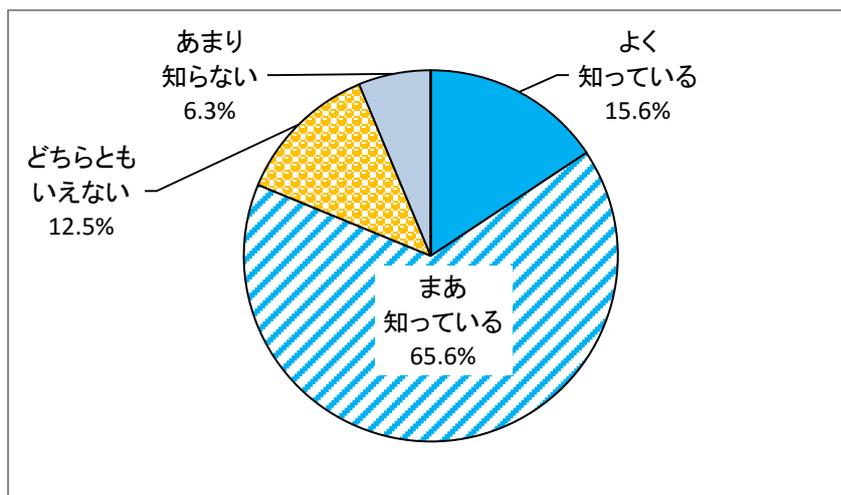
実 施 期 間	平成28年9月26日～10月11日
調 査 対 象	利用者家族
配 布 世 帯 数	49 件
有 効 回 答 数	32 件
回 収 率	65.3 %

お子さんのクラス	0歳児 クラス	1歳児 クラス	2歳児 クラス	3歳児 クラス	4歳児 クラス	5歳児 クラス	無回答	(人)
	6	8	5	5	4	4	0	

※2人以上在籍の場合、下のお子さんのクラスで回答

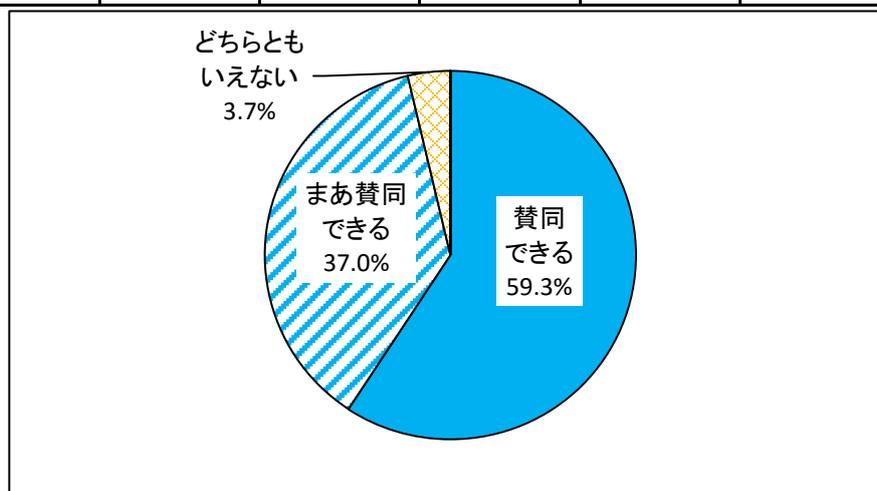
問1 保育園の基本理念や基本方針について

	よく 知っている	まあ 知っている	どちらとも いえない	あまり 知らない	まったく 知らない	無回答	(%)
あなたは、この園の保育目標や保育方針をご存じですか	15.6	65.6	12.5	6.3	0.0	0.0	



1 よく知っている 2 まあ知っている とお答えの方へ

付問1 あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか	賛同 できる	まあ賛同 できる	どちらとも いえない	あまり賛同 できない	賛同 できない	無回答	(%)
	59.3	37.0	3.7	0.0	0.0	0.0	



問2 入園する時の状況について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	(%)
見学の受け入れについては	37.5	37.5	0.0	0.0	25.0	0.0	
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	43.8	43.8	6.3	0.0	6.3	0.0	
園の目標や方針についての説明には	40.6	50.0	3.1	0.0	6.3	0.0	
入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には	62.5	31.3	0.0	3.1	3.1	0.0	
保育園での1日の過ごし方についての説明には	43.8	53.1	3.1	0.0	0.0	0.0	
費用やきまりに関する説明については	56.3	40.6	0.0	0.0	3.1	0.0	

問3 保育園に関する年間計画について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	(%)
年間の保育や行事についての説明には	34.4	56.3	9.4	0.0	0.0	0.0	
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	15.6	71.9	12.5	0.0	0.0	0.0	

問4 日常の保育内容について「遊び」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	(%)
クラスの活動や遊びについては	46.9	50.0	3.1	0.0	0.0	0.0	
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	71.9	25.0	3.1	0.0	0.0	0.0	
園のおもちゃや教材については	50.0	46.9	3.1	0.0	0.0	0.0	
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	53.1	40.6	6.3	0.0	0.0	0.0	
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もてているかについては	46.9	46.9	6.3	0.0	0.0	0.0	
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	43.8	53.1	3.1	0.0	0.0	0.0	

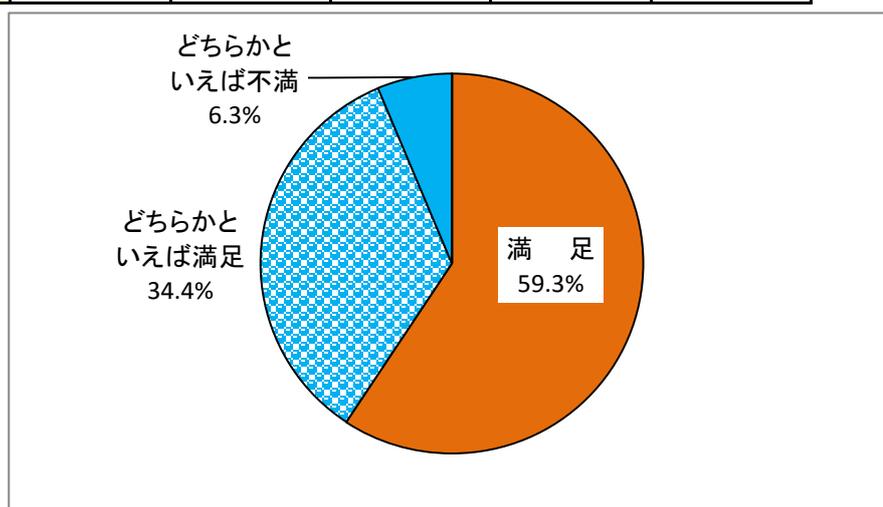
「生活」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	(%)
給食の献立内容については	56.3	37.5	6.3	0.0	0.0	0.0	
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	59.4	37.5	3.1	0.0	0.0	0.0	
基本的な生活習慣の自立に向けての取り組みについては	65.6	31.3	3.1	0.0	0.0	0.0	
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	40.6	37.5	6.3	0.0	12.5	3.1	
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	50.0	25.0	6.3	0.0	15.6	3.1	
お子さんの体調への気配りについては	59.4	37.5	0.0	3.1	0.0	0.0	
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	50.0	43.8	6.3	0.0	0.0	0.0	

問5 保育園の快適さや安全対策などについて	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	(%)
施設設備については	34.4	53.1	9.4	0.0	3.1	0.0	
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては	37.5	59.4	3.1	0.0	0.0	0.0	
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	43.8	53.1	3.1	0.0	0.0	0.0	
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	50.0	37.5	12.5	0.0	0.0	0.0	

問6 園と保護者との連携・交流について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	(%)
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	37.5	46.9	9.4	0.0	6.3	0.0	
園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については	59.4	34.4	6.3	0.0	0.0	0.0	
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	50.0	37.5	9.4	0.0	3.1	0.0	
送り迎えの際、お子さんの様子に関する情報交換については	34.4	56.3	9.4	0.0	0.0	0.0	
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	40.6	56.3	3.1	0.0	0.0	0.0	
保護者からの相談事への対応には	40.6	53.1	6.3	0.0	0.0	0.0	
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応については	37.5	43.8	12.5	3.1	3.1	0.0	

問7 職員の対応について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	(%)
あなたのお子さんが大切にされているかについては	56.3	43.8	0.0	0.0	0.0	0.0	
あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては	71.9	28.1	0.0	0.0	0.0	0.0	
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	40.6	28.1	3.1	0.0	28.1	0.0	
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	43.8	40.6	9.4	0.0	6.3	0.0	
意見や要望への対応については	37.5	46.9	6.3	0.0	3.1	6.3	

問8 保育園の総合的評価	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	無回答	(%)
総合満足度は	59.3	34.4	6.3	0.0	0.0	



◆利用者本人調査◆

【実施概要】

- 実施日時：平成28年11月28日、11月30日
- 実施方法：午前中の保育観察時間を中心に、各クラスの観察を実施、また幼児とは会話の中で適宜聞き取り調査を実施。

●0歳児クラス

朝の会が終わると、子どもたちは一列になって手作りベンチに座ります。保育士が電子ピアノを弾きながら、「おもちゃのチャチャチャ」や「キラキラ星」を歌い、別の保育士が歌にあわせて手振りをすると、子どもたちも真似て、声を出しながら手をあげたり、手をふったりしています。「上手だね」と保育士に声を掛けられ嬉しそうに体をゆらしています。紙芝居「わあ、びっくり」が始まりました。保育士の「これは？」の問いかけに子どもは「そう」と答えます。ぐずった子どもを抱き上げた保育士は「ちょっと体が熱いみたい」と言って体温を測ろうと移動すると、子どもが紙芝居の方を指差してむずかかります。保育士は「あっちでお話、聞きたかったんだね」と子どもの気持ちを汲み取って、紙芝居が見えるように抱っこして体温を測っています。

天気が良いので親水公園までカートに乗ってお散歩です。飛行機の音がしたり、電車の音がしたり、ぴーぴーと甲高い鳥の音がすると、音のする方に子どもたちは、目を向けます。広場でカートから降りると、喜んですぐ歩きだします。保育士がシャボン玉を飛ばすと、子どもたちは大喜びで、歓声をあげて、追いかけてたりして楽しそうに歩いています。園に帰って、支度をしてオムツを換えた子どもたちは一人一人保育士に手を洗ってもらいタオルで手を拭いてもらいます。自分でタオルを見つけ、自分で拭く子どももいます。給食の時間は、保育士に援助されながら、スプーンを使って食べています。「かみかみ、もぐもぐ」と声を掛けてもらい、「これもおいしいよ」「えらいね、食べられたね」と応援してもらっています。

●1歳児クラス

「親水公園にお散歩に行きます。」保育士の手を借りて頑張って靴下を履いたり、上着を着たりする子どもや保育士に手伝ってもらう子どもなどさまざまです。子どもたちは2人で手をつないで歩きます。途中車が来ると止まって待ちます。「牛さんマーク、おおきい」などおしゃべりが聞こえます。途中であった親子に手を振ったり、地域の人に「転ばないようにね」と言われて「は〜い」と返事をする子どももいます。親水公園では雨で葉が濡れているので走らないよう注意を聞いてお友達と手を離して歩きます。子どもたちはどんぐりを見つけると次々に保育士のポケットに入れていきます。遊歩道の窪みに友達と一緒に隠れたり、大きな葉っぱを拾ったりして楽しんでいます。

園に帰ると一人ずつ洗面台に立ち、保育士に石鹸を付けてもらい手を洗います。ソフトマットを敷いた上でおむつを替えたあと、保育士は子どもが履きやすいように向きを変えずボンを履くときにさり気なく手助けをしています。絵本を読んでいる間に給食の準備が終わり、みんな一緒に「いただきます」をします。「〇〇ちゃん、お魚小さくしようか」と聞いて食べやすい大きさに調節しています。「みんな沢山歩いたからお腹が空いたね」「順番に食べようね、ご飯も美味しいよ」などと子どものペースで食べられるように声かけしています。お手手をパッチン合わせて、「あっ、〇〇君上手」みんなでごちそうさまをします。保育士の「クルクル」の掛け声にあわせ、口を拭いたタオルをエプロンの間に挟んで、上手にクルクル丸めて自分のマークの絵の付いたカゴに入れます。

●2歳児クラス

朝の自由遊びでは、テーブルの上でお皿から食べるしぐさをしたり、飲むまねをしたりとおままごとをしています。人形の頭をなでて服を着せている子どもや布製の袋を下げて人形を抱いた子ども、レールをつなげて電車を走らせるなどみんな自由に遊んでいます。保育士の膝で甘えている子どももいます。散歩の前にグループごとにトイレに行きます。子どもの様子に合わせて保育士は援助しています。

「お散歩バック」を持って散歩に出かけます。ドングリや紅葉したモミジの葉っぱなど秋の収穫を沢山拾って「お散歩バック」に入れていきます。帰りも2人ずつ手をつないで帰ります。園に帰り、うがい手洗いをし、上手にうがいができるのと保育士が褒めています。

今日の献立を紹介して給食をいただきます。子どもたちはスプーンを上手握りから移行持ちの下手持ちにしている子どもが多くいます。子どもたちは白根公園で滑り台を滑ったことなどおしゃべりしながら和やかに食べています。子どもたちは、保育士に器の食材を寄せて集めてもらい、最後まできれいに食べています。トイレの前にソフトマットを敷き、その上でパジャマに着替えます。オムツが濡れていない子どもは、トイレに座り、トイレでできたことを保育士に伝え、「できたね」と褒められ嬉しそうです。保育士は子どもたちが着やすいように服の向きを変えて一人でできるよう援助しています。自分で脱いだ衣類をきちんとたたみ自分の袋に入れる子どももいます。

●3歳児クラス

朝の自由遊びが終わり、2歳児保育室から戻った子どもたちは席に着き、「大きな栗の木の下」などの手遊び歌を歌ってみんなが揃うのを待ちます。朝の会ではカレンダーを確認して、「天気は」と聞かれ子どもたちは「はれ」と答えます。次に一人一人名前を呼ばれ、返事を聞いた園長先生に「あら素敵、元気ね」と言われ嬉しそうでした。

当番が前に出て「手を合わせて、いただきます」と言って牛乳を飲みます。牛乳をお代りする子ども、お茶をお代りする子ども、終わってとなりの子どもとじゃんけん、あいこでしよをしている子ども、当番が前に出てごちそうさまの挨拶をします。グループごとにトイレに行きます。残った子どもは手遊び歌をして待っています。「今度はどのくらいのおにぎりかな？」の問いに「おーきーの」と答え両手を大きく広げて歌いながら動作をしています。

「ゾウさんのおにぎりができたからそれを持って公園に行きましょう」靴下がはけたと見せに来る子どもは「上手」と誉められ嬉しそうに跳ねています。

2歳児と2人で手をつなぎ散歩に出かけます。親水公園に着きました。保育士は落ち葉が歩道に沢山落ちていて、葉っぱを踏んで歩くとカサカサと音がして楽しいことや清流の対岸の紅葉が日に当たってきれいに映えていることなどを子どもたちに伝えています。保育士が鬼になって、2人の子どもと手をつなぎして追いかけていきます。子どもたちは思い思いに駆け回っています。

●4・5歳児クラス

朝の自由遊び、テーブルでは、折り紙、塗り絵、お絵かきをしています。ブロックで建物や人、消防自動車を作っている子どももいます。ブロックで作った人形を操り、「消防車に乗る人は？」等言いながらなりきって遊んでいます。小さなブロックで人をたくさん作って「みんな、並ぼう、並ぼう」と楽しそうにしているのを見て別の子どもが加わります。お片付けの時間になったとき、保育士は「凄いね、これどうする？」と子どもの気持ちを聞いてブロックで作った大きな建物を続きができるように棚の上に飾っています。

散歩は4歳児と5歳児が手をつなぎ、5歳児が車道側になるように歩きます。途中、靴が脱げた子どもは、後ろを歩いていたお友達に拾ってもらい、「はい、〇〇君」と渡してもらおうと、すぐ「ありがとう」と答えて靴を受け取り履き直します。公園では保育士が周辺の危険を確認してから遊びます。「鬼ごっこするもの、この指とまれ」すぐ「いいよ」の声が聞かれ、木の下に隠れたり、走って逃げたりと、歓声をあげて、「ねえ、上に登ろう」「ここに隠れていよう」「わぁー、こっちに来る」など寒さを吹き飛ばすように公園の斜面を走り回り、息が上がって「タイム」と言う子どももいます。栗を拾って「優しく持てばいたくないよ」と見せる子どもやドングリや栗を拾って集めたり「先生、松ぼっくり」ともってきてたりする子どもがいます。大きな八つ手の葉っぱを「天狗のうちわ」と言って、取らずに落ちているのを探しています。高い所からジャンプしたり、大きな木の枝にぶら下がったりと思いつきに体を動かして、みんな遊びを見つけて楽しそうです。保育士の「帰ります」の声に広がっていた子どもたちは集まり、来たときと同じ2人で帰ります。

給食は散歩の前から楽しみにしていたカレーです。お当番はポットのお茶をコップに注ぎ、果物をお皿に盛り付け配膳するなど給食の準備の手伝いをします。どの子どもも食欲旺盛です。テーブルごとに楽しそうにおしゃべりしながら食べています。みんなで「ごちそうさま」をしたあと、お当番の子どもたちは上手に雑巾がけをして、床をきれいにしています。

子どもたちは、自分のパジャマの入ったカゴを運んで着替え始め、パジャマに着替え終わると、3分間、砂時計をかけて歯磨きをしています。保育士がコートを並べる間、子どもたちは本を読んで静かに過ごしています。

◆ 事業者コメント ◆

開園して3年目で初めて第三者評価を受けました。前職も含め、初めて第三者評価を受ける保育士がほとんどでしたので皆不安がいっぱいでしたが、担当の方が最初に全体に説明をしてくださった時、詳しく丁寧に説明をしてくださったので、わかりやすかったです。

まずは一人一人が評価をつけ、それをクラスでまとめ、次に乳児クラス、幼児クラスにごとにまとめていきました。非常勤保育士や看護師、栄養士もそれぞれが評価し、主任と共に一つにまとめていきました。そして最終的に園として一つの評価をまとめました。

話し合いを重ねることで、各々が保育を見つめ、他の意見を聞き「そんな考えもあるんだ」と見直すことができた良い機会になりました。

保護者の方々にはお忙しい中アンケートにご協力くださり、ありがとうございました。

貴重なご意見を今後の保育園運営に活かせるよう、また保育の向上に努めていけるよう、しっかりとスタッフ一同話し合いをして努力していきたいと思えます。

調査員の方には、保育園の良いところをたくさん見つけてくださり、感謝しております。

園としても、行っていることを明文化し、わかりやすく開かれた保育園になるよう努力して行きたいと思えます。

ありがとうございました。

福祉サービス第三者評価 評価機関

特定非営利活動法人 よこはま地域福祉研究センター

〒231-0013 横浜市中区住吉町二丁目 17 番地 金井ビル 201 号室

TEL : 045-228-9117 FAX : 045-228-9118

URL : www.yresearch-center.jp/ Email : top@yresearch-center.jp



かながわ福祉サービス第三者評価認証機関 第 26 号

横浜市福祉サービス第三者評価指定機関 第 17 号

川崎市福祉サービス第三者評価認証機関 第 14 号

横浜市指定管理者第三者評価機関 認定番号 25-01

東京都福祉サービス第三者評価認証評価機関 認証番号 機構15-232

全国社会福祉協議会社会的養護関係施設第三者評価機関 2510-002-02
